

令和5年9月21日

日本畜産学会第131回大会 若手奨励・男女共同参画推進委員会  
ランチョンセミナー開催報告

日 時： 2023年9月20日(水) 12:05～12:45  
場 所： 帯広畜産大学・大講義室(第Ⅱ会場)

「どうする？北海道の大学機関におけるダイバーシティの現状と取り組み」

タイトル：「地方小規模大学だからできること・やるべきこと」

講師：川島 千帆 先生

帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター 准教授

学長補佐(ダイバーシティ・女性活躍推進担当)

参加費： 無料(申込先着80名にお弁当付き)

参加者数： 83名

内容：

今回は帯広畜産大学ならびに北海道内大学におけるダイバーシティに関する取り組みについて紹介頂くことを目的としました。

まず、若手奨励・男女共同参画推進委員会の木村直子委員長(山形大学)より、最近の委員会活動についてご報告頂きました。続いて、帯畜大卒業生の藤森さんより講師の川島先生の略歴や人柄などご紹介して頂きました。前日の交流会で、大会長扮する乳牛を牽いていたのが川島先生でした。そんなお茶目な一面をお持ちの川島先生のお話はわかりやすく面白くあっというまのご講演でした。まず、川島先生ご自身が帯広畜産大学にてダイバーシティ推進担当学長補佐を務めることになった経緯、北海道の6大学による女性研究者交流・育成を中心としたJST事業および帯畜大単独の地方・小規模単科大学の女性・若手教員採用・育成を中心としたJST事業の紹介がありました。現状の問題点、事業で何を目標しているのか、推進状況など、わかりやすくご説明いただきました。続いてご自身のワークライフバランスのご経験をお話下さいました。子連れでの学会参加は大変だけど楽しい思い出だったなどなど若手へのエールもいただきました。ご自身の専門分野も含めた事前質問へのご回答もカバーしていただきました。学生のみならず教員の皆様にも有意義なお話だったのではと思います。

今回のランチョンセミナーは実質40分間、前後の空き時間がほとんどないという厳しいタイムスケジュールとなりました。前後の準備時間の確保も課題です。また、講演をただ聞くだけでなく、会場内に集まった皆さんも発言できるような交流ができる時間の確保ができればなと思います。最後に会場においてセミナー運営にご尽力・ご協力くださいました皆様に深謝いたします。(以下の写真は大会事務局の口田先生が撮影してくださいました。)

世話人：武田久美子(農研機構)

